

平成 30 年度 神奈川県立菅高等学校 不祥事ゼロプログラム

① 法令遵守意識の向上

取組	社会人としてのモラル、公務員としての倫理意識を持つ。	
目標	公務員としての自覚を持ち、心に隙を作らない意識の徹底を図る	
行動計画	検証結果	
	職員相互がコミュニケーション力を高め未然防止に向け風通しの良い職場づくりをさらに進める。特に、若手教員を孤立させない職場づくりに全職員を上げて取り組む。	

② わいせつ・セクハラ行為の防止

取組	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	
目標	常に相手の立場を意識した言動を心がけるとともに、あらゆるわいせつ・セクハラ行為を許さない、見逃さない学校環境を整備する。	
行動計画	検証結果	
	わいせつ・セクハラ行為の未然防止を図るため、機会に応じて事例に基づく情報提供や協議を行い、相互に認識を確認していく。	

③ 体罰、不適切な指導の防止

取組	教育活動の様々な局面で不適切指導等の発生を未然に防止する。	
目標	生徒一人ひとりが置かれた状況を理解し、それに相応しい指導・支援を行う。	
行動計画	検証結果	
	個々の生徒に対する理解を進めるために情報交換・情報共有をより重視するとともに、指導・支援における教員間の役割分担を明確にし、不適切指導が発生しないよう相互の協力体制を取って行く。また、外部講師による研修を実施し、昨今の生徒に係る諸課題とそれへの対応について理解を深める。	

④ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止

取組	入学者選抜業務を適正に実施する。	
目標	入学者選抜業務における留意すべき点を明確にし事故を未然に防止する。	
行動計画	検証結果	
	入選委員会を中心に、作業全体を計画的に実施し、リスク管理を図るとともに、留意すべき点について職員全体で周知徹底を図り、一人ひとりが情報を共有しながら責任を持って業務に取り組む。	

⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

取組	携帯電話等も含めた個人情報の適正な管理を徹底する。	
目標	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	
	行動計画	検証結果
	個人情報を含む文書およびデータを適切に管理する。特に教務手帳の管理は規定に従い適切に行う。また所定の手続きを遵守するなど、情報管理に対して強い自覚を持って取り組む。	

⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

取組	交通法規の遵守を通して、教職員の関わる交通事故を未然に防止する。	
目標	交通法規の遵守の徹底を図る。	
	行動計画	検証結果
	事例の紹介・啓発ポスターの掲示などによる法令遵守の啓発はもとより、職員相互の声掛け等により意識を高める。	

⑦業務執行体制の確保（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

取組	グループ・学年・教科内で業務協力体制をより強化する。	
目標	会議・打合せ等で職員の意識向上とモラルの維持を図り、組織としての業務遂行に自覚をもって取り組む。	
	行動計画	検証結果
	業務進捗状況・生徒情報等の共有化により業務に協力して取り組む体制を作る。また、各自が担当する業務一つひとつに対ししっかりとバックアップ体制を関連部署内で確立する。	

⑧会計事務等の適正執行

取組	適正な私費取扱事務を実施する。	
目標	会計マニュアルによる適切な私費徴収・執行事務を徹底する。	
	行動計画	検証結果
	伝票作成、執行、事後処理の各段階で複数によるチェックを確実にできるようにする。そのために、会計業務の仕組み・手順について全職員が理解できるよう機会に応じた説明会等を実施する。	